

(様式3)

## 自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>平成20年度事業計画に、事業所の理念を作成することをあげていたが、年度中2度の管理者異動により、取り組めなかった。</p>	<p>平成21年度事業計画に理念作成を再度あげ、運営推進会議の議題として取り上げ、法人に提案する。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>法人理念は、理解している。実践に向けての取り組みは、利用者様の理解が個々によりまちまちであるので、個別の介護計画を作成する段階で、意識するようにしている。</p>	<p>出来上がった理念を事業所内に掲示し、実践についての具体策を職員の会議で検討して行く。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>事業所の理念が明文かされていない為、地域に伝えることが難しい。できていない。</p>	<p>同上</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩途中で声を掛け合ったり、利用者様の日常の消耗品などは、近所の商店で購入するなどしている。</p>	<p>今後も現在の取り組みを継続していく。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域で行っている、介護保険外の高齢者のデイサービスに参加させていただいている。</p>	<p>今後も現在の取り組みを継続していくと共に、地域の学校・保育園行事の見学などもお願ひしていく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>平成20年度中、事業所において、ショートステイと、デイサービスの事業を展開したいと、行政に働きかけた。現在計画にないという回答である。</p>	<p>運営推進会議にて、地域代表の方へ事業所に期待することを尋ね、実践可能なものであれば実践していくよう努めたい。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>第三者評価の時期がくると、意識が高まるといった状態である。</p>	<p>前年よりも良い評価が得られるよう、毎年改善努力をしていきたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>第三者評価の受審状況・評価結果は運営推進会議で伝えている。</p>	<p>さらに、活発な意見交換ができるように、会議の進行を工夫する。</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所からは、市へ出向くが市担当者が事業所を訪れることはない。</p>	<p>現場と、監督義務者である市とがお互いの立場を理解し、協力できる関係をつくりたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>個々の利用者様について、必要性は認識している。活用については、事業所がイニシアチブを取るものではないと管理者は認識している。加えて、地域がらか、関係者が積極的に活用をしないように思われる。</p>	<p>積極的に利用を促し、事業所の負担を軽減する方向で考えていきたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待の防止について、個別に取り上げて学習したことはない。ケア会議のなかで利用者様の対応について、不適切なことがないか確認する程度である。</p>	<p>接遇とあわせ、勉強する機会をもうけていきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		<p>管理者自らが、契約前には家庭訪問を行い話しを伺うと同時に、事前に予測される契約書に記載のない支援に際しての課題は対処方法を検討したものを、覚書等で取り交わしている。</p> <p>今後も、契約に際しては十分な話し合いをし、形に残していく。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>利用者様は、常にホーム職員とコミュニケーションしている。家族様と利用者様の面会も制限していない。利用者様からのご意見は、随時取り上げ検討している。</p> <p>今まで通り、利用者様が意見や希望を職員に伝えやすい人間関係を保っていく。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		<p>月1回のお便りにて、個別記事を作成し、受診状況等お知らせしている。又、小遣い帳のコピーも送っている。</p> <p>今後も現在の取り組みを継続していく。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		<p>苦情相談窓口を設けている。重要事項説明書に、窓口担当者の名前と、外部苦情申し立て機関を掲載している。</p> <p>苦情に関しては、マニュアルに則り、適切に対応していく。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		<p>運営者には、職員の意見を聞いて頂く機会がない。</p> <p>運営者に、職員の意見を伝えるルートをつくる。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		<p>月1回の会議にて、常に業務の見直しは行っている。</p> <p>今後も、現在の取り組みを継続していきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員異動が多いと、利用者様家族から指摘を受けている。	人事権のあるものに、利用者様ご家族からの意見を伝える。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	OJTは事業所レベルで行っている。今年度、認知症介護実践研修受講者2名。管理者研修受講者1名。	来年度は、リーダー研修・代表者研修の受講について、検討していく。
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市主催の介護支援専門員連絡会への参加を、公務とみとめている。淡路島内の認知症高齢者グループホーム管理者の交流会に出席している。	今後も、現在の取り組みを継続していく。
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	特に取り組みはない。	先ず職員が抱えているストレスについて、理解してもらうようにする。
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	特に取り組みはない。	運営者と、事業所責任者が話し合いできるようにしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	施設見学は、基本的に制限をしていない。入居前には、家庭訪問をして自宅での生活の状況や、生活暦・今後の生活に対する希望など時間をかけて、話を伺うようにしている。	今後も、現在の取り組みを継続していく。
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	利用者様に対するのと同様に、ご家族とも家庭訪問時、十分な時間をとって話し合いをしている。	同上
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	事業者である法人は、他に介護保険事業を行っていない。必要であれば、相談事業所を紹介している。	同上
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	複数回数、施設見学をしていただいたり、事前訪問も一度限りではなく複数回行う。	同上
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	日常の会話の中で、利用者様のご意見を尊重するなどして、協力して日常生活を営んでいるという意識を持っていただく工夫をしている。	同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>日々のエピソードをお便りや、面会時の会話によってお伝えし、ご家族のお気持ちも確認している。</p>	<p>同上</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>行事への参加の呼びかけを行ったり、面会が遠のいているご家族に様子伺いの電話を入れるなどしている。</p>	<p>同上</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会は基本的に制限していない。外泊・外出もご家族の協力を得ながら、適時行っていただいている。</p>	<p>同上</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>特に大きなトラブルに発展しない限りにおいては、利用者様同士のコミュニケーションの妨げになるようなことはしない。また、手芸や工作などで、皆が集える時間を設けたりしている。</p>	<p>同上</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>転居先の施設・病院などへ訪問するなどしている。</p>	<p>同上</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>可能な限り本人の日課を崩さないようにしている。身の回りのことも、お一人お一人の状態や希望にあわせて支援している。</p>	同上
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前面接にて、できるだけ多くの情報を本人様・家族様より頂いている。また、本人様らの了解を得て、他のサービス関係者からの情報も頂いている。</p>	同上
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>利用者様の様子は、職員間で共有できるよう常に新しい情報を申し送りしている。</p>	同上
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、介護職員の状況等も踏まえ、実現可能で、継続していけるものを作成している。</p>	同上
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>1回/半年のペースで定期的に見直しをしている。他、モニタリングにより、必要時計画変更もする。</p>	同上

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>計画作成担当者・介護士・看護師の介護計画・介護記録・看護記録は利用者様お一人につき1冊にまとめ、職員全員が他職種の記録をいつでも見られるようにしている。</p>	<p>同上</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院・買い物同行・金銭管理等、利用者様・家族の状況に応じ画一的でないサービスを提供している。</p>	<p>同上</p>
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>行事の際には、ボランティアの協力を頂いている。左枠記載のその他の機関とは協力の関係づくりはできていない。</p>	<p>地域の同業者の実績等も参考にし、無理のない程度で、協力関係づくりをしていきたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>制度上、他の介護保険サービスは受けにくいと考えられるが・・・。</p>	<p>まず、他に利用できるサービスを探すことから始める。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターは、運営推進会議に出席していただいているが、個々のケースについての相談には、のって頂いていない。個人情報の取り扱いの面からも、事業所と地域包括支援センターとの直接のやり取りは難しいと考えるが・・・</p>	<p>地域包括支援センターの役割を理解することからはじめる。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>契約時には、協力病院の説明や受診の付き添いの援助の基本的なルールを説明し、理解いただいた上で往診や受診を行っている。</p>	<p>今後も、現在の取り組みを継続していく。</p>
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要や希望に応じて受診して頂いている。ご家族が受診の付き添いをされる場合には、ホームでの様子などを文書にまとめ、医師に伝えるようにしている。</p>	<p>同上</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>事業所に看護師を配置している。協力病院の看護師には、相談にのっていただいている。</p>	<p>同上</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>協力病院とは、連携体制がとれている。その他の病院に入院された場合には、ご家族を通じて病院と情報交換を行っている。</p>	<p>同上</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方については、契約時に事業所の指針を文書にて説明している。病状が特に悪化した場合は必ず管理者がご家族と共に受診に立会い、医師とご家族と共に、話し合いを持つようになっている。</p>	<p>同上</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>同上</p>	<p>同上</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>情報交換は、ご本人や家族様の了解のもと、可能な限り多くの情報を共有できるように努めている。</p>	<p>同上</p>
<p><b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報使用の同意をいただき、条件の範囲内での使用をしている。</p>	<p>同上</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者様一人一人と会話する時間を大切にしている。また、利用者様自らが話しかけてこられた時には、話しかけられた職員が対応し話の流れを止めないようにしている。</p>	<p>同上</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様一人ひとりの支援について、都度本人と話し合い希望を伺っている。ご自分で洗濯をされたり、他の方の食器を拭いたり、ホールのゴミ捨てを手伝って下さったり、入浴日をご自身で決めていただいたり・・・と工夫している。</p>	<p>同上</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>基本的には、ホームに訪問して下さるボランティアの方をお願いしているが、希望があれば過去の馴染みの店にお連れする。現在は殆どの方がホームでの理・美容を希望されている。</p>	<p>同上</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立には、利用者様のご希望を考慮している。食事の準備や後片付けは殆ど職員が行っているが、野菜の下ごしらえなど、レクリエーション感覚で行うこともある。利用者様によっては、食器拭きを日課にされておられる。</p>	同上
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲み物は、利用者様の好みのものをティータイムで提供している。</p>	同上
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>身体の状態にあわせ、たとえば離床が困難な状態になった時でも、ポータブルトイレを使用させていただきなど、おむつを使わない工夫をしている。</p>	同上
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>共同生活であるので、ある程度は利用者様同士でも順番や曜日を譲っていただく必要はあると思う。全ての利用者様の全ての希望には添えないと考えますが・・・。</p>	同上
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>体調が良好な時は、ある程度規則正しい生活を日課に沿って行っていただいている。ただし、入居間もない頃などは徐々に日課になれて頂くまで、ご本人のペースを大切にしている。</p>	同上
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>気の合った利用者様同士でお話をされたり、ゲームをされたりといった場合には、職員は必要以上に介入しない。また、ユニットをまたがった交流の場合は、移動の手伝いをさせて頂いている。</p>	同上


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は、殆どの利用者様がご自身でお金を管理されることを望んでおられない。レクリエーションで買い物に出かける時や、祭り行事の時には職員やボランティア付き添いのもとお小遣いを持ち使っている。		同上
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や、天候などを見ながら散歩に出かけるようにしている。花見や夏祭り等、行事で外へ出かける機会を作っている。		同上
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	美容院や喫茶店等、ご家族の協力を得て外出して頂いている。		同上
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話が掛かってきた場合は取り次ぐ。また、電話を掛ける場合は、ご家族の状況を確認したうえで掛けて頂いている。		同上
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は基本的に制限していない。また、面会の方にお茶をだしたり、利用者様の居室で話される場合は、椅子を提供してゆっくり過ごして頂けるように配慮している。		同上
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「具体的な行為」については、完璧に把握しているとはいえないが、身体拘束と考えられる行為と認識した場合には、そういった行為はしない。		身体拘束マニュアルを作り、利用者様の安全を確保する上で、身体拘束が必要な場合に備える。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	居室に施錠はしていない。建物の構造上階段からの転落等を防止するため、フロアの2階3階には施錠している。	今後も、現在の取り組みを継続していく。
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	利用者様の状態に応じ、個室で過ごされる場合や、入浴時・トイレ使用時の見守り・声かけを工夫している。	同上
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	はさみ・爪きり・電気シェーバーなどは、利用者様の状況に応じ個人で保管していただく場合もあるが、予め保管が難しいと予測される利用者様については、ホームで管理させていただく。火気は一切持込をお断りしている。	同上
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	利用者様や、場所・場合に応じ見守りをしている。薬については、全員に服薬管理を行い、薬の保管場所に施錠している。	防火管理のマニュアルに忠実に、火元責任者の任務を遂行してもらう。
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	マニュアルを作成している。年1回程度看護師による講習を行っている。	今後も、現在の取り組みを継続していく。
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年2回消防・避難訓練を行っている。	同上

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居時には必ず、身体面・精神面で起こり得るリスクについて説明し、ご家族の考え方を確認し必要な対応を一緒に検討する。</p>	同上
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>バイタルチェックは定時に行っている。又、感情の急変時・その他アクシデントのあった時には随時身体観察・バイタルサイン測定行っている。</p>	同上
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに薬表をファイルし、都度確認している。</p>	同上
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分補給は十分行っている。朝、ラジオ体操のあと、室内を歩いていただいている。朝食にバナナやヨーグルトを毎日取り入れている。</p>	同上
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後口腔ケアの呼びかけや、介助を行っている。</p>	同上
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は、法人内の管理栄養士からのアドバイスをもらっている。水分は、使う器で摂取量を把握している。発汗が多い時や下痢のときは普段より多く水分を摂取するよう配慮している。</p>	同上

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>マニュアルを作成し、対応している。勉強会を開いている。</p>	<p>同上</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>食材は、毎日購入している。調理用具の殺菌は、やり方を決めて行っている。</p>	<p>食器棚・冷蔵庫・キッチンの中の清掃も取り決めをしていく。</p>
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>開きドアは、固定する。靴を履き替えるための椅子を用意している。混雑を避けるための、待機場所を設けている。</p>	<p>今後も、現在の取り組みを継続していきたい。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>清掃を十分行っている。観葉植物や季節の花を飾る。また、雛人形・クリスマスツリーなど、季節感の味わえる室内装飾をしている。</p>	<p>同上</p>
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自然にできた、利用者様のそれぞれの固定席に着席していただいている。他にソファを置くなどして会話しやすい場所をつくっている。</p>	<p>同上</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	安全面を確保できれば、家具の持込を特に制限しない。	同上
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	掃除時・調理時は換気をする。乾燥時、加湿器を使用している。	エアコンの温度設定の取り決めをする。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	居室は、利用者様の状態に応じ、ポータブルトイレの設置をしたり、手すりをつけるなどしている。車椅子や歩行器が使用できる十分なスペースを確保している。必要箇所に新たに手すりをつけたこともある。	今後も、現在の取り組みを継続していきたい。
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	お一人お一人の気づきを確認できるような、ゆとりを持った対応をしている。	同上
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	ベランダは非難経路のため、何もおかない。建物周辺に、畑をつくっている。	同上

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 グループホームで生活される方にとって、食事は毎日の楽しみと考え、利用者様に食べたいものを伺い献立に利用するなどしている。食事は3度3度手づくりである。またおやつもたまには手作りのもの（ふかし芋やぜんざい等）をお出ししている。